

平成27年度 第2回加西市立図書館協議会 議事録

日 時 平成28年3月22日（火） 15：30～16：45

場 所 アスティアかさい3F 交流室

出席者 委員8名：岡本昌文、河原喜久子、岡本教穂、山端一男、藤原美穂、本玉元、小林俊広、大塚淑子

教委・図書館3名：高橋教育長、上坂館長、高井主幹

欠席者 中安恵子、岡 章雄

1. 開会 高井主幹が開会を伝えた。（15：30）

2. あいさつ

会長あいさつ

- ・図書館予算、学校図書予算増のお礼
- ・グリーンポストに掲載された市外利用者の投稿記事について、お礼の報告

教育長あいさつ

- ・利用者数、貸出件数も順調に推移している。
- ・図書館予算について、来年度は学校連携図書の200万円を含め1,600万円の備品購入費となっている。学校図書も1校あたり50万円で計800万円と図書館の200万円を含めると1,000万円の予算となり、例年の3倍以上となっている。
- ・来年度は読書力で学力向上を図りたいと考えており、図書館事業が今後ますます充実させていけるよう協力をお願いしたい。

3. 議事

高井主幹から、これからの議事の進行を本玉会長に依頼した。

（1）H27年度図書館利用状況等について（上坂館長説明）

委 員：不明本は誰かが持って帰ったということか。

事務局：貸出時のスキャンをとおしていないものもあるが、原因ははっきりわからない。全体の割合からは他館と比較して極めて低いほうだと思う。

委 員：当初に無断持出防止装置を設置する意見もあったが、つけずに市民のモラルに期待して調整しようということとなった。除籍しなければいけない状況は良くないが、きわめて少ない数字であるのは良いと思う。

委 員：利用者が増えているのは大変良いことである。

事務局：学校連携事業で図書館に行こうという子どもさんが増えたのではないかと考える。地道なイベントも企画していることもあるのではないか。

委 員：児童サービスに重点を置くという方針は間違っていないと思う。

委 員：児童図書の貸出が一般図書を上回っているということであるが、蔵書数が多いのか。

事務局：蔵書数は他の図書館に比べて多くない。むしろ回転率が高いと思われ、特に絵本の回転が多くなっている。

委 員：絵本の除籍が1,000冊を超えている理由は何か。

事務局：除籍の1,000点は不明本ということではなく、1,028点のうち849点を幼稚

園、保育園等に声掛けをして移籍したもの。図書館の書庫のキャパに限度があり、今回整理ということで管轄替えをしたということ。残り179点が汚損や紛失した分ということ。

委員：学校連携に関し、学校間のいわゆる「温度差」は見られるか。

事務局：まだ始まったばかりということもあり、学校によって取組のさかんなところ、少ないところはある。

委員：本を運んでいただくサービスは学校として本当にありがたい。本校は耐震工事の関係で2学期図書室を閉鎖していた状況で、3学期に図書館から来て図書館開きをやっていただき、子どもたちが大変喜んだ。学校は古い本が多いので、展示方法を斬新に工夫していただき、良かったと思う。

委員：学校サイドの反応をどう分析しているのか。

事務局：学校図書館との連携事業への理解がまだ得られていないのは事実。特に中学校は読書離れということで難しい時期であるが、昼休み10分程度しか図書室が開いていないのは改善が必要であろう。今後も事業の浸透を図りたい。

委員：なぜ、開放できないのか。

事務局：子供たちが忙しい、時間がない、風紀上のこともあるように思う。ただ、図書館スタッフがたとえ週に1度でも行って開放することはどうかという投げかけはしているが、学校側の反応はいまのところ低調。新年度多額の購入予算もつくこともあり、さらに工夫が必要だと思う。

教育長：問題意識を持っているので、校長会等で検討しないといけないと考えている。

事務局：学校図書館法で学校司書を置くという努力義務になっているが、実情としてすぐには置けないので、図書館のスタッフが週に1度でも入れたらと思うが、すぐには難しいようである。

委員：学校側とさらに協議して改善を進めてほしい。

事務局：小学校でも積極的な学校はたくさんあるが、中学に行くと図書室が開いていないということでギャップがあると聞いている。

委員：読書手帳はよく利用されているか。

事務局：市内の全学校に1回配布し、館内でも希望者に配布している。2冊目3冊目の子どももいるが、個人差はあるようである。

委員：読書手帳を有効活用してほしい。

(2) 図書館運営方針の策定について（高井主幹説明）

事務局：平成24年に『図書館の設置及び運営上の望ましい基準』が改正され、「市町村立図書館は、その設置の目的を踏まえ、社会の変化や地域の実情に応じ、当該図書館の事業の実施等に関する基本的な運営の方針を策定し、公表するよう努めるものとする。」とされた。これは図書館の運営環境や変化に対応するための規定の整備に努めるようにというものである。当館でも、今回、基本的運営方針を策定しようというもの。基本方針として、「生涯学習拠点として、『市民に愛され、暮らしに役立つ図書館』をめざし、サービスの充実に努める」とし、重点目標として、図書館資料の整備充実を図る、図書館利用の促進を

図る、学校図書館との連携による読書活動の推進に努める、豊かな地域社会の創造に貢献することをあげている。なお、公表はホームページにアップして行う予定である。

委員：「市民に愛され、暮らしに役立つ図書館」は図書館の理想であると思う。どこかに掲示するのか。

事務局：館内に掲示は可能です。

委員：図書館としての方向性である。良いことが書いてあると思う。

(3) グループ室の使用方法について（高井主幹説明）

事務局：図書館4階の一般図書館の右側にグループ室1・2があるが、この2つのグループ室の天井がつながり吹き抜けになっており、隣の声が筒抜け状態であり、話し声、音漏れがする。このため、団体での会議や集会に利用することに適さないと以前から指摘をされていた。また、グループでの利用の場合は申し込みが必要で26年度が3件12人、27年度が10件35人と少ない実態であった。今回、図書館利用者に、より有効利用いただくため、「加西市立図書館運営規則」にある「グループ室」の名称を削除し、申し込みなく自由に利用できる「読書室」「閲覧室」として開放したいと考えている。実際にはすでに事前申し込みのない日は一般閲覧席として供している。なお、今後複数人や団体で図書館施設を利用したい方には、4階展望読書コーナーをご利用いただきたい。

委員：利用の目的はどんなものか。

事務局：読書グループ等が意見交換をしたり、図書館ボランティアの相談等のために設けていた。

委員：交流センター等を利用したらよいと思う。

委員：一度会議で利用したが、広くもなくしゃべりづらい。また吹き抜けがあつて暑く、会議には向かないと思った。自習や本の閲覧に使ったほうが良いと感じた。

事務局：グループでの利用については展望読書コーナーを活用いただきたい。このあと、委員の方にも現場を見てもらい、それぞれの活用方法の提言もいただきたい。

委員：展望読書コーナーではおしゃべりや飲食ができるので、中高生が使いやすい。

委員：利用者にとっても、また図書館としても不都合がないと思う。

(4) 播州弁検定について

事務局：来る6月5日に播州弁検定を実施する。きっかけとしては昨年夏に播州弁を募集する特集をしたところ反響が大きく430件の播州弁が集まった。そこで、姫路のNPO法人「播州弁研究会」に相談し、播州弁検定を実施する運びとなった。地元の文化でもあり慣れ親しんでいる方言を通じ、図書館さらにはアスティアかさいにも来館いただくきっかけともしたい。交流プラザを会場に80人定員で行い、100問3者択一形式で70点以上を合格とし、参加者には播州弁下敷きを、合格者には合格証書と播州弁トートバッグをお渡しすることとしている。すでに50件を超える問い合わせをもらっており、面白い試みではないかと考えている。

委員：播州弁は加西だけのものか。

事務局：播州地方ということで姫路を含めた広範囲で、自分たちが知らない言葉もたくさんある。問い合わせも多く、参考資料も作っている。

委員：播州弁検定はほかでもあるのか。

事務局：姫路検定などのご当地検定はあるが、広範囲の播州弁検定は初めてではないかと思う。

委員：現在の問い合わせの状況からすると殺到するのではないかという懸念もあり、申し込み多数の場合は抽選としている。

委員：面白い試みと思うが、今回1回きりのイベントか。

事務局：次回は未定であるが、広がりがあれば中枢連携事業で行うのも良いのかとも考えている。

委員：関心のある人が多いと思う。図書館は文化拠点でもあるので良い試みであると思う。

(5) その他

事務局：学校の関係で協議会委員で交代があれば連絡いただきたい。

委員：いろいろな方に加西の図書館のことを聞いてみた。加西市立図書館は人気が高い。特に職員の対応が迅速で丁寧であり、また検索システムもわかりやすいということであった。その他で改善してほしいことはないかということでは、4階の一人用のキャレルを増やしてほしいということとキッズの照明が少し暗いのではないか、ほかに、館長のおすすめといったコーナーがあってもいいのではないかということがあった。

事務局：現在、児童書と4階に分かれて、毎月スタッフが順に特集を組んでいる。

委員：CDで「キズあり」とあるのが何とかならないのか。

事務局：次に借りていただく方やスタッフにわかるように「キズあり」のシールをつけている。

6. 連絡事項

次回開催は、平成28年6月下旬から7月初旬の予定で了承を得た。

7. 閉会 藤原副会長が閉会の挨拶をした。

- ・小学校での読み聞かせのお礼状について。「本がとても好きで、中学校に行ってもおばあちゃんになっても本が好きでいたい」といった感想もあった。中学校の図書室がほとんど本の倉庫になっている状態はもったいない。
- ・加西タイムス掲載の西村書店店長のお話について。気がついたら「読書の町加西」になっていたら良いと考えている。

(16:45 終了)